

A飼料・混合飼料

暑熱時の健康をサポートする

アユルクール

「アユル&ハーブズ」は、アユル=インドハーブ、ハーブズ=ヨーロッパハーブをイメージしております。コーリン化学株式会社はそれぞれの食用ハーブの能力を最大限に引き出し、

①健全な畜・水産の経営 ②安全・安心な食品づくり
に貢献します。

～それぞれのハーブの特徴～

●インドハーブ(経験的な知識に基づいたハーブの組み合わせを基本とする)

インドにおいて5000年以上にわたり受け継がれてきた伝統的医学「アユルヴェーダ」を基本に食用ハーブの組み合わせにおいて動物に対処的に使用いたします。

・原生している ・粉碎が基本 ・天然の抗酸化物質(バイオフラボノイド、ビタミンなど)を多く含有する。

●ヨーロッパハーブ(科学的な根拠に基づいた有効成分を基本とする)

2006年にEUにおいて抗菌性飼料添加物の使用が禁止され、それに前後し代替としてのハーブの研究が盛んに行なわれるようになりました。殆どがその成分について言及されており、生産性の向上を目的としております。

・栽培されている ・抽出物が基本 ・安定供給 ・成分の安定

特長

●夏場の高温時に使用する●

- ① 暑熱時の健康維持に貢献
- ② 食欲不振を軽減
- ③ 抗酸化成分を含有

すると言われている食用ハーブを組み合わせております。



含有される原材料

セイヨウハッカ抽出物、マンゴー粉末、インドカラタチ果実粉末、コズイシ種子粉末、キュウリ粉末、タマネギ粉末、オレガノ抽出物、植物油、無水ケイ酸、甘草抽出物、ベニバナの花末、スイカズラの花末、カボチャの種子末、オオバコの種子末



賦形物質等

米ぬか油かす



使用方法

・鶏、豚：飼料に対して0.1%の割合で添加してください。



包装、用量

20kgコーリンカラー袋

使用上の注意

高温多湿、直射日光を避け保管して下さい。開封後は、速やかにご使用ください。
目的以外の用途で使用しないで下さい。



KOHKIN
ayur & herbs
アユル & ハーブズ

アユルクール®

夏場の肥育期における「アユルクール」給与例

| | |
|------|---------------------------------------------------------------------------|
| 実施場所 | 関東 I 農場 (JAS規格認定農場) |
| 実施期間 | 2013年7月～9月 |
| 実施方法 | 肥育期用飼料に対し、7月は0.1%、8、9月は0.15%の割合で給与 2011年、2012年、2013年7月～9月の飼養・出荷成績と比較検討 |

| 豚舎No. | 頭数 | 開始時 | | 出荷時期 | 給与日数 |
|-------|-----|---------|--------|--------|-------|
| | | 日齢 | 体重 | | |
| I号舎 | 328 | 150～180 | 90～110 | 7月出荷中 | 0～27 |
| II号舎 | 476 | 120～150 | 70～90 | 8月出荷予定 | 28～59 |
| III号舎 | 477 | 90～120 | 50～70 | 9月出荷予定 | 60～90 |

結果

図1 出荷体重・出荷日齢(年度別)

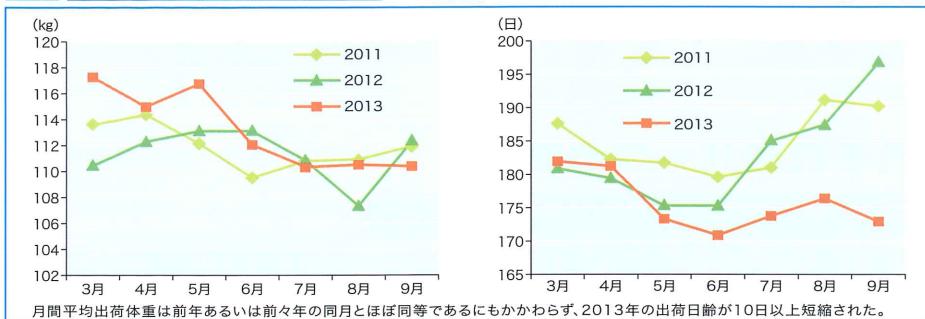


図2 一日増体量

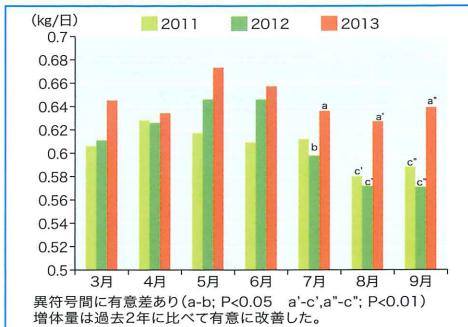


図3 出荷体重、出荷日齢、一日増体量(生時～出荷)(給与期間)

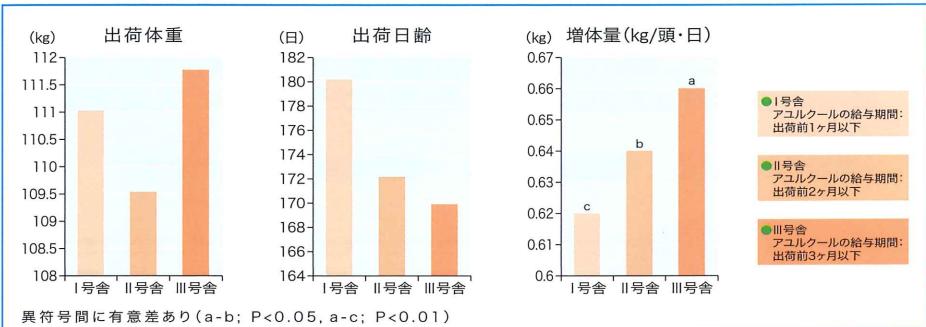


図4 事故頭数の推移

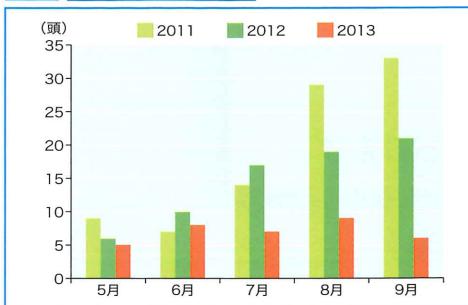
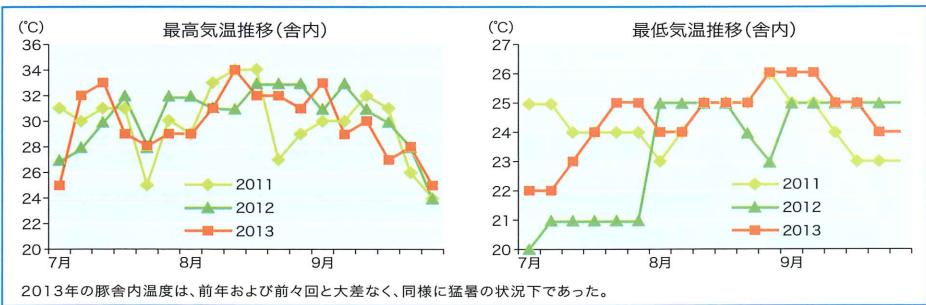


図5 豚舎内最高最低気温の推移



まとめ

- 2013年7～9月の出荷成績は、過去2年と比べ、一日増体量が大きく改善し、出荷日齢は10日以上短縮された。
- 豚舎I、II、IIIの出荷成績を比較したところ、アユルクールの給与期間が長いほど一日増体量は改善され、出荷日齢が短縮された(図3)。
- 例年活動が鈍くなるはずの午前10時頃まで餌を食べていた。
- 31°Cを超える日中は殆どの豚が寝ているが、暑さによるダメージを受けている豚が少なく、呼吸は比較的穏やかであった。
- そのため、呼吸の荒い罹患豚の発見が容易となり、早期治療が実施でき、事故率の低減につながった(図4)。
- 夏場の育成遅延対策となり、出荷体重を落すことなく出荷日齢を短縮できた。



コーキン化学株式会社

本 社 〒579-8014 東大阪市中石切町3丁目7番49号

TEL. 072-988-2501(代) FAX. 072-988-2130

東京事業所 〒101-0047 東京都千代田区内神田1丁目7番8号 大手町佐野ビル2F

TEL. 03-5259-5681 FAX. 03-3291-4341

大阪事業所 〒579-8014 東大阪市中石切町3丁目7番49号

TEL. 072-988-2502 FAX. 072-988-2506

鹿児島事業所 〒899-8606 鹿児島県曾於市末吉町深川4407番1

TEL. 0986-28-8105 FAX. 0986-28-8131